



活用の心 こころえ 得

この教科書は

1 災害の種類を知るために使用すること

風水害・土砂災害・地震・火事のしくみを学び、対応策を考えましょう。

2 災害の情報を得るときや備えのために使用すること

災害情報の入手方法や避難ルートの予測を立て、緊急時に備えて家族がいつでも利用できる場所に置きましょう。

3 災害が起こったとき適切な行動をとるために使用すること

自分の身を守るためにはどんな行動をとる必要があるかを知るために活用しましょう。

4 家族で防災会議をするときに使用すること

災害に対する家族ルール（避難場所・連絡先など）を決めて書き込みましょう。

5 災害時、^{はだ}肌身離さず持ち歩くこと

家族の情報（生年月日・血液型など）を書き込み、常に持ち歩きましょう。

Contents

プロローグ：過去から学ぶ防災 01

第1章 災害を知る

風水害ってなに？ 02

土砂災害ってなに？ 04

地震ってなに？ 06

火災ってなに？ 08

第2章 情報を得る

情報1 ハザードマップ（災害想定区域図）の
使い方 10

情報2 河川・土砂災害情報 12

情報3 災害情報の伝達方法 13

情報4 防災無線 14

知っておこう！ 災害情報伝達のコトバ 15

第3章 災害から身を守る

みんなの命を地域で守る 自主防災 16

助け合いのこころ 19

家族で防災対策 20

応急手当 23

個人情報一覧 24

過去から学ぶ防災

災害は、「いつ」「どこで」起こるかわかりません。過去に邑南町で起こった数々の災害を振り返りながら、常に備えのこころを持ち続けましょう。

まちで起こった災害

「S47災害」「S58災害」は島根県で発生した記録的な水害で、邑南町にも多大な被害を及ぼしました。

◎「S47災害」(昭和47年7月)

梅雨前線の影響で起きた集中豪雨によって、島根県西部の各河川がはん濫し、死者・重軽傷者計8名にのぼる被害をもたらしました。

江の川 旧両国橋の流出▶



◎「S58災害」(昭和58年7月)

島根県西部沿岸を中心に起きた集中豪雨で、全壊・半壊を含む住宅被害は、旧町村をあわせて976戸にのぼり、深刻な被害が相次ぎました。



▲井原の断魚付近国道261号半分流失

▼濁流に耐える出羽橋



▲下口羽 旧琵琶甲橋付近

災害が起こったときの行動4原則

災害が起こる危険性が高まったときは、冷静な判断をこころがけて以下の行動4原則を守りましょう。

その1 正確な情報収集

防災無線・ラジオ・テレビ・インターネットなどから、正確な最新情報を入手しましょう。

その2 自主的な避難

避難指示の呼びかけがない場合でも、雨の降り方や浸水状況により身の危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

その3 身軽な服装

避難するときは、すみやかに行動できるように安全で動きやすい服装にし、必ず2人以上で行動しましょう。

その4 戸締り・火元確認

避難する前に、電気やガスの元栓を切り、窓や扉は鍵をかけてしっかり戸締りをしましょう。